

あいさつ運動をやってみて感じたこと

成果・課題・これからに向けて



今年度の挨拶運動が始まってすぐの5月ごろは、まだまだ挨拶してくれる人があまり多くなかった印象があったものの、毎月の挨拶運動のたびにどんどん挨拶が増えているように感じた。普段の生活の中でも、廊下ですれちがった先生方に挨拶している人を見かけることも多くなったので、効果として表れているのかなと思った。

ただ、まだまだ課題も残っていて、挨拶をしない人がいたり、気づかずに通り過ぎてしまう人も多かった。これは、挨拶運動をする側の挨拶の音量であったりも課題になるのかなとも思った。挨拶運動自体には効果が表れているので、みんなが挨拶をしやすい条件を作っていくと挨拶する人も増えていくのではないかなと思った。
(後期課程 8年)

全体的に挨拶が増えた。Sブロックの生徒は最初から挨拶をしてくれる子が多かったけど、より挨拶をしてくれる子が増え、声も大きくなった。Mブロックの生徒は会釈はしてくれるけど・・・という子が多かったが、しっかり声に出し挨拶してくれる子が増えた。Lブロックの生徒はあからさまにそっぽを向いたり、わざと後ろを通ったりする人が多かったが、まだ声を出してくれなくても、会釈をしてくれる人が増えた。まだ声を出してくれない人や（挨拶運動に）参加をするのを忘れてしまう人が多く、挨拶への意識が低いので、ポスターや放送でもっと呼びかけをしていきたい。
(後期課程 8年生)

挨拶運動をやってみて感じたことは、SブロックとMブロックがちゃんと大きな声であいさつをしてくれてうれしかったです。もし、学級生活委員になったら、いままでのことをたくさん生かそうと思いました。
(前期課程 6年)

あいさつ運動をやって最初は不安だったけど、だんだんあいさつができて、かえしてもらったからうれしかったし、楽しかった。成果は同じ学級生活委員といろいろな仕事をいっしょにできたこと。課題は仕事を最後までやること、これからにむけて7年生でも続けたいから、6年生より仕事やあいさつをしたいと思った。
(前期課程 6年)

